

「看護を大切にする」環境創りが マグネットホスピタルへの 第一歩に

2013年刊「看護部パンフレット」

近森病院看護部長
久保田 聡美



近森病院5カ年計画の完成年度がいよいよ来年度に迫ってきました。近森会グループの中核を担う急性期病院が高機能の医療を提供していくためには、優秀な看護師が不可欠です。5カ年計画では、単に看護師の数を増やすだけでなく「チーム医療」の推進を通して「看護師でなければ出来ない仕事」に特化することにより、「看護の質」をみつめる環境創りを目指してきました。

チーム医療と一口にいても様々です。多くの病院で見かけるのが、褥瘡対策チームやICT、NSTといった形です。一つの目的を達成するために組織横断的に多職種で構成されるチームです。こうした形式は、勿論近森にもたくさんあります。

しかし、近森のチーム医療は一味違うのです。看護師同様、病棟にたくさんのメディカルスタッフが配置されています。365日リハ、10年以上の歴史のある病棟薬剤師、退院調整で活躍するMSW、NSTには欠かせない管理栄養士、口腔ケアを担う歯科衛生士等々、すべて部署に配置されているのです。

看護にとっても心強い仲間が配置されることを通して見えてきたことはどんなことでしょうか。それは看護が24時間ベッドサイドにいることを強みにするためには、少し仕掛けが必要だということです。そのための仕掛けとして、まずは原点にもどり、自分たちの足元を見つめ直す必要があると考えました。近森病院が大切にしたい看護とは、目指す看護とは、チーム医療

の現場で看護は何を担おうとしているのでしょうか。患者さんのために、目の前の命を救うために、何よりも「実践」を大事にしてきました。果たして、それだけで良いのでしょうか。



事務、薬剤師、医師、管理栄養士…仲間たちと

昨年から再構築されたラダー制度をきっかけとして、看護師それぞれが自分の看護を語り、みつめる機会にすること。チーム医療の現場を活かし、多職種協働の場において患者さんにとって何が大切なのかを真剣に議論すること。そんな場を通して「看護を大切にする」環境を一人ひとりの看護師が自ら創造して欲しいと考えました。そんな環境を創るのは看護部だけではできません。看護師と働くすべての職種の皆さんのご理解、ご協力が必要です。

できない自分と向かいあって、愚痴をいう看護師もいるかもしれません。自分が目指しているものが見えなくなって立ち尽くす看護師もいるかもしれません。そんな時こそ、現場に配置されている仲間がきっと力になってくれることでしょう。そんな病院なら、全国から「近森で働きたい」と素敵な看護師が続々と集まってくる、そんな予感を感じませんか。 くばた さとみ



メディカルスタッフ・ワークウェア11



モデルは
臨床栄養部
吉田麻優美さん

聴診器

背中の文字

Clinical Nutrition
CHIKAMORI Medical Group



PHS

臨床栄養部は、より機能性を求めて白衣からワークウェアに変更した。ウェアのカラーは、近森ブルーをベースにしながら、清潔感を印象付ける現在の淡い藤色とした。

管理栄養士の仕事は、患者さんの栄養状態を良くし、筋力をつけ、病気に負けない体を作る事である。病棟を回り、患者さんの身体に触れ、コミュニケーションを取りながら、筋力の付き方や浮腫の状態などを見て、小さな変化も見落とさない様子を凝らす。

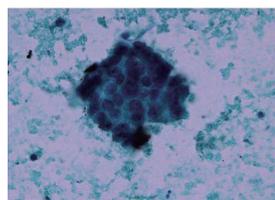
NST(栄養サポートチーム)で医師、看護師、言語聴覚士、薬剤師、様々な職種と情報を共有し、また部署内の相談体制も万全である。

やりがいを感じる時は、患者さんの栄養状態が改善されてほほが膨らみ、生気を増していく姿を見る時だという。今日も必需品の聴診器とPHSをポケットに秘めて、患者さんの早期社会復帰を裏方から支え続ける。

超音波内視鏡 (EUS) のおはなし

近森病院消化器内科

科長 近森 正康



写真は膵臓腫瘍に対してEUS-FNAで穿刺針を穿刺し細胞診を行っています

腹部体外式超音波 (US) は侵襲もなく簡便な検査であるため、しばしば消化器疾患に対する検査の第一選択の検査になります。

しかし、超音波は空気の向こう側が見えない。。という弱点もあります。とくに膵臓や胆管などの臓器は胃や十二指腸の背側に位置し、消化管のなかの残渣や空気などにより、描出不良になることがあります。

消化管のなかから観察することで、空気や残渣の影響をなるべく少なくするように開発されたのが、Endoscopic Ultrasonography (超音波内視鏡: EUS) です。

超音波内視鏡は対象臓器 (病変) のすぐ近傍から観察が可能で、詳細な観察が可能となります。EUSは主に膵臓

や胆管・胆嚢や消化管の粘膜下腫瘍を観察するために用いられます。

膵癌、膵嚢胞、慢性膵炎、胆嚢癌、胆嚢腺筋腫症、消化管 GIST など、さまざまな病変の精密検査に用いられます。コンベックス型 EUS を用いて腫瘍を描出しながら腫瘍を穿刺して、吸引により細胞、組織を採取して病理診断を行う (超音波内視鏡下穿刺生検法: EUS-FNA) こともできます。

当院では細胞検査士の協力により、

採取して数分以内に細胞を観察して診断能を高めることのできる迅速細胞診も行なっております。最近では超音波下穿刺の手法を用いて膵仮性嚢胞のドレナージュや消化管からの胆管ドレナージュも行われています。

EUSは観察だけなら外来での検査が可能で、鎮静剤によって安全に苦痛なく行うことができます。

ちかもり まさやす

連載に当たって ● 年齢順ということで書かせていただくことになりました。これまで連載された先生方のように医療と人生に対する信条があるかと尋ねられると、なかなか書けないなと思い、取って題名を「私の流儀」から変更し、連載が終わる迄になんとか信条らしいものを書いてみようか、と思いつつ始めさせていただきます。

6月の歳時記

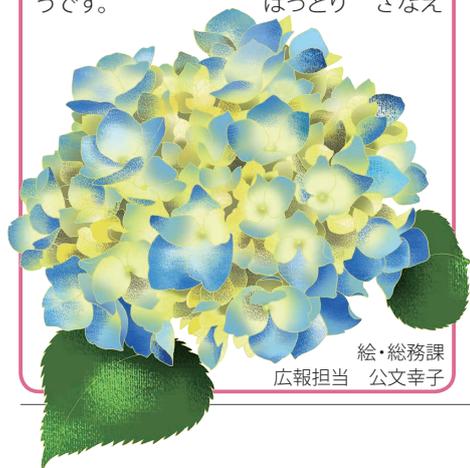
紫陽花

管理部経理課

服部 早苗



あじさいは、酸性土壌では青色が強く、アルカリ性土壌では赤色が強くなることはよく知られています。緑、白、青、赤紫……、段々と色を深めていく姿が「移り気」や「七変化」と呼ばれ、冷淡なイメージの花言葉が多いようですが、小花が集まって咲くことから「一家団欒」や「家族の結びつき」といった良いイメージでもあるようです。 はっとり さなえ



絵・総務課 広報担当 公文幸子

ユーミン (荒井由実) と並び私が大学生だった時代にデビューしたシンガーソングライターに中島みゆきがいる。随分前に終わったNHK番組「プロジェクトX—挑戦者たち—」の主題曲「地上の星」「ヘッドライト・テールライト」を創り唄っていた歌手である。

中島みゆきはテレビへの露出が少なく、2002年12月31日の紅白を黒部ダムの中で歌った時はNHKが大々的にPRした。最近YouTubeで、中島みゆきが筑紫哲也 (ニュースキャスター: 故人) と対談しているのを見た (「筑紫哲也 News23」1993年11月10日)。どうしてこれを見なかったのかと思ったが、その時期私は、肝移植研修目的でオーストラリアに留学して日本に居なかったからだった。このなかで中島みゆきは「(自分は)音楽志向という方ではないのではないか、と思う。言葉が好きで言葉表現するためにイントネーションをつ

けたり……しているうちに音楽をしている……言葉の得体のしれなさに魅入られている……」と話していた。この言葉を聞いて、彼女の楽曲がなぜ、感動的で人びとの心をとらえるのかを理解できたような気持ちになった。今年4月6日のSongs(NHK)では「時代」が宮崎市の小学校の卒業式で歌われ、また震災被災地の高校生が避難所を巡回して歌っていた。

気儘エッセー 1

時代・中島みゆき



近森病院外科部長

たなか ようすけ
田中 洋輔

「そんな時代もあったねといつか話せる日が来るわ。あんな時代もあったねときっと笑って話せるわ」1975年10月デビュー当時、弱冠23歳でどうしてこんな言葉を楽曲にできたのだろう、と感心する。上述のインタビューで中島みゆきは「自分の唄は実用品として役立てて頂けるのが一番の夢……何か気晴らしになったりして……使っていただければ充分だ……」と話していた。

ちなみに、中島みゆきが露出を少なくしているのは、代表的な唄の印象とは余りにかけ離れたひょうきんな性格のためだろう。



排泄の悩み 解消いたします!

ストマ・排泄ケア委員会
シニア看護師長 西本 清香

2011年度から日本コンチネンス協会会長の西村かおるさんに毎月来ていただいて、近森グループの排泄ケアに関わってもらっています。この2年間は、入院中の患者さんはもちろんのこと職員や一般市民の排泄の悩みを解決すべく、精力的に患者さん訪問、職員や一般市民むけの研修をしてきまし

た。

患者さん訪問では月に1回の訪問にも関わらず、顔を覚えていただき、訪問時に笑顔をいただくことができ、西村さんのすごさを実感しています。一般市民向けの研修では、お年頃の女性や男性の悩みでもある頻尿、尿失禁や便秘の予防と対策などのテーマで延べ150名ほどの参加を得られ、参加者からは役に立った、悩みが解決したなど嬉しい言葉をいただいています。講義の内容は、生活指導、お薬や食事について、骨盤底筋体操、失禁対策グッズの紹介などなどさまざまです。

他にも、西村さんには研究にも関わっていただいています。精神科領域では、主治医と相談しながら下剤に頼らない排便ケアに関する取り組みなど、西村さんの患者さん訪問により、

講演中の
西村かおる氏



下剤についてのこれまでのスタッフの見解が変化していきました。その結果、下剤に頼らなくても、もしくは、適切な下剤の使用の大切さを改めて感じることができたスタッフから積極的に研究の意思を頂き、西村さんのアドバイスを受けながら取り組んでいます。

排泄とは、人が生活していく中で重要でありながら、急性期では忘れ去られがちなケアですが西村かおるさんの排泄ケアに関する知識・経験を是非、吸収し、患者さんへのケアや自身、家族、周囲の方にも広げて欲しいと願っています。

にしもと きよか

ハッスル研修医

高知で研修するにあたり



研修医 岡村 圭介

初めまして。この春から近森で研修をさせていただくことになりました、岡村圭介です。栄えある一人目を名前が早いかという理由で、僕にして良かったのかという疑問はありますが、一生懸命書きますのでよろしくをお願いします。

まず、軽く自己紹介をさせていただこうと思います。生まれは京都です。高校までは京都にいましたが、自分にまったくゆかりのない高知にやってきました。そのため、なぜ高知にきたかをよく聞かれますが、理由は高知の土地柄と、そこに近森病院があったから、この二つにつきます。

僕はどの診療科に進むかを考えておらず、どういった医者になりたいなどの理想の医師像を持っていません。この病院に来て、自分がどういった医者になりたいかを様々な人と出会うことで模索していきたいと考えています。

そういうわけですので、皆さん、僕が病棟を回ってきたら、生温かい目で見守ってやってください。そして願わくは、声を掛けてやってください。お願いします。いや、ほんとに。

おかむら けいすけ

蕎麦屋



近森 正幸

高知ではおいしい蕎麦が食べられないものと思込んでいた。しっかりしたおいしい蕎麦を打つためには、それなりのこだわりがあるし、志も高くなければならない。そもそも高知のような風土では無理ではないかとあきらめていた。

最近、日曜市での買い物の前後によく行く蕎麦屋ができた。中ノ橋通りの井上書店の北隣りにあるそこは、店構えがなかなかいいし、テーブルもゆったりして落ち着けるのもいい。蕎麦はキリッとしていて、置いている酒もほとんどが純米酒であるのが嬉しい。蕎麦が好きで、よく東京の老舗の蕎麦屋で食べるが、テーブルもせせこましい

し、せかさされるようで楽しい時間を過ごせない。

蕎麦という食べ物はシンプルそのものだから、おいしくするのはたいへんだが、簡単にまずくもなる。こんなおいしい蕎麦を出すためにはご主人がどれだけの努力と修練を積み重ねてきたか。「おいしい蕎麦を味わってもらいたい」という高い志が、この味をつくり出しているように思える。

蕎麦屋ではふつう中国産の蕎麦がつかわれているが、ここでは 北海道や茨城、長野の「玄蕎麦」を使い、皮を剥いだ「丸抜き」を真空パックにして、4℃で低温保存して一年中使っている。新蕎麦は香りがすばらしいが、一年も熟成すると甘味が出るという。粉に挽くときは電動の石臼をつかい、蕎麦の種類に応じて挽き方を変えている。「返し」と「出汁」も伝統にとらわれず、独自の工夫をされて、蕎麦湯で割るとしみじみとおいしい。ワサビも本ワサビである。

江戸前の寿司や天麩羅、鰻もそうだが、おいしい蕎麦に出会うと、日本人として生まれて良かったとつくづくと思える。 理事長・ちかもり まさゆき

よさこい”ちかもり”ご声援お願いします



早いもので近森会グループがよさこい祭りに参加して、今年で4回目となります。ちかもりのよさこいチームは、一般のチームと違うのは職員とその家族のみで構成されている点であると思います。この為よさこいへ参加する新人スタッフにとっては様々な職種の職員と交流することができ、今後職場においても非常に働きやすい状況となる一面も持っています。

また踊り子の出場で関連部署にはご協力を頂きまして、ありがとうございました。今年は昨年とはまたひと味もふた味も違う「ちかもりチーム」のご声援のほど宜しくお願い致します。

よさこい祭り実行委員会

お知らせ 医療従事者対象

◆第111回地域医療講演会

「医療者が自分でマネージメントする
法的リスク」

日時：7月4日(木) 18:30～19:30

会場：管理棟3階会議室

講師：中京大学法科大学院専任教授

稲葉一人先生

◆第112回地域医療講演会

「遠隔成績と手術侵襲からみた
大動脈外科の現状と展望」

日時：7月26日(金) 19:00～20:30

会場：高知パレスホテル

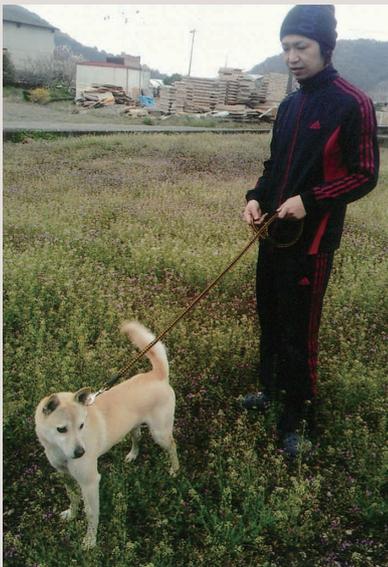
講師：名古屋大学大学院 心臓外科

教授 碓氷(うすい) 章彦先生

リレーエッセイ

私の日課

近森病院第二分院 5階病棟
看護師 上田 秀彰



家に帰ると私の帰りを一番に待ち望んでいる者がいる。子供たち、妻か？ いやいや一匹の雄の雑種犬である。名前は「イッパチ」と名づけた。歳は……、知らない。

イッパチとの出会いは衝撃的だった。現居住地に引っ越しをしている道中の反対車線に蹲っていた。生死

も分からず次々と車が避けて通過して行く。私も横目で見ながら急いだ。

荷物を降ろし、同じ道を通ったとき前方の車が変わらず避けて通過している。距離が近づくにつれ、こっちを見つめていることに気が驚いて車を路肩に停めた。口に大怪我をしていて動けないでいた。車には父も同乗しており動物病院へ運んだ。左口角が耳元まで裂け縫われた痕が痛々しかった。古びた首輪をしており飼い主を探したが見つからないまま6年経った。

大きな後遺症も残らず今では遠くから私の車の音を聞き分け、帰りを教えてくれていると妻がいう。私を見つめ吠える姿は「遅い、早く散歩に連れて行け」と某CMの犬の口調のようにしか感じ取れないが、この6年朝晩のイッパチの散歩が日課となっている。 うえた ひであき

私の趣味

草野球

近森病院 SCU
看護師 野瀬 秀二



私の趣味は小学5年生の頃から始めた野球です。始めたきっかけは友達からの勧誘を断りきれず渋々、練習に参加するという変な理由からでした。

始めはルールも分からず、ミスをして監督に怒られてばかりでした。それでも小、中、高と野球を続けることができたのは、試合に勝ったときの喜びや、チームメイトとの励ましがあつたからだと思います。

現在は中学、高校の野球部のチームメイトが作っている草野球チームの2チームに入団し、平日は練習し、週末は他チームと練習試合をしたり、大会に参加し優勝を狙っています。

去年までは近森病院の野球チームに参加していましたが、人数が揃わず、試合ができない日が多くなり、今年から休部になってしまいました。野球をやりたい方は、ぜひ声をかけてください。

のせ しゅうじ

近森会グループ

2013年度

★オフィシャルモデル募集★

「写真モデル」を募集します。撮影した画像は、近森会グループで発行される「病院パンフレット」、「新聞広告」、「CM」など掲載を予定しています。

就職の記念などに、仲良しグループでいかがですか。職種などは一切問いません。皆さんの応募をお待ちしています。

募集要項 ● 職員限定。性別、年齢、職種不問 若干名

● 自薦、他薦を問いません、お申込みは総務課広報までご連絡ください。

リンクナース委員会活動報告

感染管理 ベストプラクティスへの 取り組み

近森病院医療安全部門感染対策担当
シニア看護師長 近森 幹子



3月の報告会の様子

リンクナース委員会では、昨年12月より近森会の4病院共同で、「感染管理ベストプラクティス作成活動」に取り組んでいます。

「感染管理ベストプラクティス」とは、感染管理のツールの一つです。さまざまな看護ケアの場面を感染管理の視点を重視し（たとえば手指衛生のタイミングや衛生的な技術など）、文字とイラストで手順書を作成しています。出来上がった手順書に加えて、遵



イラスト手順書を作成中

守率向上のためのチェックリストとその根拠となるエビデンスを文献から調べて危害リストも作成します。

チェックリストを利用して、部署のスタッフ一人ひとりが評価を行っています。その後リンクナースが教育をして再度評価を行い、before / afterの遵守率をグラフで可視化して、遵守率の向上のために、更なる改善につなげるというPDCAサイクルをまわす活動です。

もちろん、ケアバンドルを考慮して

作成されています。今回7グループにわかれて、近森会で実践している看護ケアのテーマを選び出し実践しました。3月に報告会（評価）を開催し、活発な意見交換の結果、今後も継続した活動を行ない、近森会の感染管理の

向上に繋げて行くことで意思統一できました。

リンクナース委員会の今後の活動や感染管理へのご協力を、よろしく願います。

ちかもり みきこ

院外エッセイ

ひとり暮らし、 でも大丈夫!!

石橋 照久 NPO法人「明日への絆」理事長

昭和22年 和歌山県湯浅町生まれ。平成13年 大阪国税局退職後税理士業を営む。平成14年 夫婦で52日かけて四国遍路敢行。それをきっかけに高知に移住



少子高齢化の最先端を走る高知県。10年前に四国八十八箇所を歩いてみて、それがよくわかりました。そんな高知県になんでIターン？とよく聞かれるんですが、「言葉は荒っぽいけど、気候も心もあたたかいからでしょうかねえ」と答えることにしています。

ところで、会員同士の支え合いで結ばれたお年寄りの集まりであるNPO法人『明日への絆』には、事業内容や成年後見制度についての問い合わせが数多く寄せられています。会員は25名で最高齢は104歳、平均年齢は75歳ぐらいでしょうか。ですから、病気やケガで入院される方も多く、そのたびに走り回っています。とくに、ひとり暮らしの方が入院されると、入院直後から退院後の生活が心配で、「自宅に戻ってもやっていけるんやろか？」という基本的な心配から始まり、様々な不安を抱えてしまうようです。

つい最近も、90歳の女性会員が一カ月ほどの入院で自宅に帰ったのですが、ひとり暮らしですから、入院中は退院後のことを考えると眠れない夜が続いたということでした。

でも、大丈夫！何とかなるんですよ。訪問看護ステーションの皆さんやアパートの大家さん、民生委員さん、

教会の牧師さん、絆のメンバー、等々が高齢者支援センターに集まってケア会議を開き、帰宅してからのサポート体制について話し合いました。絆のメンバーには、「電話でのその後の心の支え」をお願いしたことはいうまでもありません。

そして彼女も少しずつ良くなって、今では部屋の中を歩きまわれるほどになりました。きょうも絆のメンバーから「散歩させてあげたい」と電話が入り、友人から車椅子を借りて早速持って行ったことでした。「こんなに親切にしてください」と90歳の彼女によく言われますが、「あなたの感謝の心に私たちが動かされているだけです」と話しています。同時に、お世話できることの喜びや幸せをこちらがいただいていることも付け加えて……。

行政の取り組みも随分充実してきている昨今ですが、私は今、そんな仕組みを一步進めて、住んでいる身近な地域で、と考えています。漠然と「ひとりぼっちの老後」に不安を抱えている皆さん、すぐ隣りのご近所と昔からの友人とこの頃の知り合いと、もちろん行政もいっしょに、住民皆が支え合うまちづくりをとともに目指しませんか。

献血ありがとうございました。



5月21日(火)に、第二分院一階ロビーにて、献血キャンペーンを開催しました。

今回は400ml限定でしたが、新入職員の方にも積極的に参加いただき、全部で69名の方にご協力をいただきました。皆さまの温かいご協力ありがとうございました！また、受付にご協力いただいたスタッフの方々にもこの場を借りてお礼申し上げます。

次回は9月開催予定です。

装置の調整中に森田部長を囲んで



核医学検査 NO.2

近森病院画像診断部
診療放射線技師

主任 中村 伸治



核医学 (RI) 検査の大半は、静脈注射で始まります。放射性物質を微量含んだ薬が、骨シンチの時には骨に、脳血流シンチの時には脳に、集まるように調整されています。検査の種類ごと

能画像である核医学画像と、形態画像である CT 画像とを、重ね合わせる事ができ、薬が集まっている場所がどの

部位なのか良くわかるので、診断に大きく貢献しています。

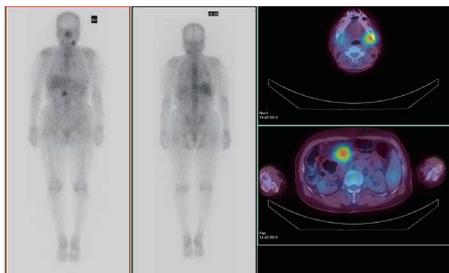
なかむら しんじ

第2回 FIM 講習会 in 土佐

県内外から 125 名の参加を得て

近森リハビリテーション病院

リハビリテーション科科长 和田 恵美子



GaシンチとCTとの重ね合わせ

に目的の部位が違うので、検査の数だけ薬があると言えます。その薬に含まれる放射性物質は、一億分の一グラム程度で、副作用もほとんどありません。この薬が体の中で集まって、微量の放射線を出すので、体の外からガンマカメラで、写真を撮る事が出来ます。平成 23 年 11 月に導入された GE 社のガンマカメラ Discovery CT/NM 670 は感度がよく、微量の放射線を捕らえる事ができ、体の中で散乱したり、吸収された放射線を、補正する事によって、目的の部位での放射線量の、真の値を求めることができ、この事によって、患者さんの体の異常を見つける事ができます。またこの装置には、診断用 CT も備わっており、核医学の検査と同時に CT を撮ることによって、機

平成 25 年 5 月 12 日 (日) 第 2 回目の FIM 講習会 in 土佐を開催しました。四国で唯一の開催であることから、高知県外からの 110 名の参加者を含む、125 名が受講されました。

昨年に引き続き、川崎医療福祉大学学長の椿原彰夫先生に FIM の歴史や利用の注意点などを分かりやすく講演いただきました。その後、院内講義等で研鑽を積んだ当院のスタッフが講師陣になり、運動 13 項目、認知 5 項目を 1 ~



7 段階に分け実際の評価方法を分担して講義しました。第 1 回目と比較して実際に FIM を ADL 評価として使用されている参加者が多かったようで、質問内容も実際に困っている内容が中心でした。

今後も医療従事者に FIM の理解を深めていただき、正しく FIM を活用していただけるよう、講習会を開催していきたいと思います。

わだ えみこ



お弁当拜見 14



母の姿を見て

近森病院整形外科外来看護師 藤田 由香里



私のお弁当作りは、母がいつも父にお弁当を作っていた姿を見て育ったことから始まります。母が作るお弁当はボリュームがあって彩りがきれいで見るからにおいしそうでした。

お昼にお弁当を開けるのが楽しみで、いつも自慢できるお弁当だったと父から聞いたことがありました。私も

家族が出来たらお弁当を作ってあげようと思っています。

現在はその夢も叶い、高校 3 年生になる娘にも作っていますが、料理上手な母の作るお弁当には到底及ばず、日々奮闘しています。

「ひろっば」今年 4 月号に載ってい



たキャラ弁、上手にできていて驚きました。不器用な私には無理ですね。けれども、これからは愛情をいっぱい詰め込んだお弁当を頑張って作ってきたいと思います。

ふじた ゆかり

「日本中を煙から解放させて自由にする！」

スモークフリーキャラバン

近森オルソリハビリテーション病院

5階病棟看護師 主任 江藤 末子



▶ウクレレ漫談を演じるスモークフリーキャラバンの隊長・渡辺文学さん



4月14日、「日本中を煙から解放させて自由にする！」という「スモークフリーキャラバン隊」がついに来高！このキャラバン隊は全国をかけめぐり、次の日には高知県庁に陳情書を提出しました。

当院では14日午後、自らもヘビースモーカーで環境保護運動家だった渡辺文学さんがたばこ問題活動家となりたいきさつや、得意のウクレレ漫談で禁煙支援をよびかけ、患者さんやご家族とともに楽しいひとときを共有しま

した。

キャラバン隊の方たちの中には他にもヘビースモーカーだった方もいて、自らの経験談をふまえて自分だけの健康問題ではなく、受動喫煙の恐ろしさなどをみんなにわかってほしいと熱く語られていました。

参加者のなかには喫煙者も少なくなく、たばこの害がよくわかったがちょっと耳の痛い話で苦笑いでした。一日でも早くクリーンエアな世のなかになってほしい気持ちでいっぱいです。

えとう すえこ



近森会グループ

職員数

1,770人

(2013年4月1日現在)

委託を含む実質的な職員規模は2,106人となり、多くのスタッフでチーム医療を展開し、日々患者さんをサポートしています。

近森病院

救急車搬入件数

5,002件

院内救急車出動件数 67件

ドクターカーおよびドクターヘリ出動件数 62件

近森病院

手術件数

4,839件

急性期医療に取り組む近森病院では、一刻を争う患者さんが多く、日曜、祝日に関係なく、1日あたり約13件の手術数です。

近森病院

延べ外来患者数

138,694人

地域医療支援病院として地域に密着した医療を展開しています。

外来患者さんは1日平均(平日)500人を超えます。

近森病院

延べ入院患者数

116,905人

近森病院は急性期病院として一般病床345床を確保しています。

常時入院中の患者さんは、1日平均で320人になります。

数字でみる近森会グループ

2012年度の実績

2012年4月～2013年3月

近森病院

退院患者数

8,148人

近森病院に入院されている患者さんが一年間に退院された数字です。平均在院日数は、14.2日です。

近森会グループ

延べ見学者数

329人

見学受け入れ件数は83件。見学の申し込みは年々増えて来ています。(実習および部門での個別受け入れは除く)

精神科グループ

第二分院
精神科1日平均外来患者数

118人

デイケアパティオ/復職・再就職者率71%(40名)。メンタルデイケア/福祉的・一般就労率26%(16名)。ラポールちかもり/月平均245件訪問

近森リハビリテーション病院

在宅復帰率

76.2%

重症患者割合
看護必要度A項目1点以上 17.7%
日常生活機能評価10点以上 38%
重症患者改善率 52.7%
(日常生活機能評価点数4点以上改善)

近森オルソリハビリテーション病院

病床稼働率

94.7%

在宅復帰率(施設基準による)一般・亜急性期病床81.8%
回復期病床 83.7%
※亜急性期は在院日数60日を超えての在宅復帰者は除外。

「乞! 熱烈応援」

地域医療への貢献



近森病院救命救急センター
科長 杉本 和彦

わたしは、高知大学老年病科教室に入局し、16年間は循環器内科医として勤務しました。高知医療センター救命救急センターで8年間勤務し、ER、ICU、一般病棟まで受け持つ体制で、救急医として従事してきました。

ドクターヘリでの病院前現場出勤、東日本大震災での南三陸派遣の経験のなかで、救急医療、災害医療の先にも地域医療があることを実感しました。

軽症重症を問わず目の前の救急患者を受け入れているこの病院で、地域で戦える、救急に強い総合診療医を育成したいという夢があります。そして、私自身も将来地域医療に携っていきたくと思っています。

すぎもと かずひこ

地域医療への貢献 信頼しあえる仲間と共に



近森リハビリテーション病院
リハビリテーション部理学療法士
療法士長 竹村 恵美

5月11日付けで、療法士長職を拝命いたしました。

回復期リハビリテーション病棟では、患者さんに障害があっても在宅で元の生活に復帰できるように支援しており、ここでは質の高いリハサービスの提供が必要となっています。

私自身は非力ではありますが、日々の業務のなかで目標を明確にして、一人一人の思いが形になるように、サポートしていけたらと思っています。まだまだ未熟者ですが、ご指導ご支援の程、よろしく願いいたします。

たけむら えみ

ワイン講座 ● 12

ワインの王様 ブルゴーニュ その3

ル・コルトン・グラン・クリュ/生産者:ブシャール・パール・エ・フィス/生産地:ブルゴーニュ地方、コート・ド・ボヌ地区/コート・ド・ボヌの唯一のグラン・クリュの赤ワイン。100年に1度という例外的な年の偉大なワイン。

コート・ドール地区

コート・ドールとは、フランス語で黄金の丘という意味で、収穫が終わる秋にぶどう畑が金色に埋め尽くされることから命名されています。

この地区は、ブルゴーニュの心臓部分で代表的な特級畑はシャブリを除いて全てここにありま。地形は細長く、山の斜面に沿って南北に延びています。

北半分が、かの高名なロマネ・コンティに代表されるコート・ド・ニュイ地区ですが、決して、それだけではなく、人気実力のある意欲的な生産者が多数存在します。ほとんどがピノ・ノワール種から造られる赤ワインで、基本的に骨格のしっかりとした長期熟成タイプが造られ

ます。

南半分が、白ワインの王様ル・モンラッシェに代表されるコート・ド・ボヌ地区です。

赤と白が両方とも造られていて、コート・ド・ニュイに比較して、果実味に富み、繊細なタイプのワインが産出されます。特にここで造られるシャルドネは、カリフォルニアを始めとする世界中の生産者の目標とされています。

鬼田知明 (有限会社鬼田酒店代表)



管理部長の

こだわりヘルシー美食 33

近森会管理部長 川添 昇

若いころには嫌いだった野菜が、最近はずいぶん愛しく感じる。

青臭い葉っぱものも嫌い、口はばった芋類やかぼちゃも嫌い、大根や人参の匂いも嫌い、だった。ところがこれが酒の友にぴったりとなっていました。

葉っぱもののおひたし。芋類の煮っころがし。かぼちゃの甘煮。そうそう今回は、大根や人参などの根菜類の



「ぐる煮風」



画・臨床栄養部科長 吉田 妃佐

<材料>

大根、人参、蓮根、牛蒡、それと蒟蒻。量は適宜。

<作り方>

① 食べやすい大きさに切ったそれぞれの材料を湯がく。

② 湯から上げ、濃い目のだし汁を入れた鍋に投入。さとう、薄口醤油、味醂をお好みで。落し蓋をする。

③ 味がしみてきたら出来上がり。ゆでておいたさやえんどうを入れると色どりがいい。

※鍋のなかの煮え具合と味を確認しながらビールを飲むのも good!

<食す>

これをオカズにご飯などということとは決していない。もちろん酒のアテである。最近泡モノが流行っている。嬉しい時のシャンパンは別格として、普段飲みスパークリングワイン、ハイボール、発泡性の日本酒土佐の「美丈夫」などなど、ぐる煮には良く合う。炭酸水を常備して何でも割るという邪道もいい。

そういえば今年は鰹がなかなかの年である。先日、北海道と九州の友人に自慢たらしく送ってしまった。二人とも「今晚は鰹で一杯」と同じ文面のメールを寄こしてくれた。



気は優しく、 力持ち

あの松井秀喜の敬遠策の年に…

今年の子どもの日に国民栄誉賞を受けた松井秀喜が、高校時代、甲子園5連続敬遠で話題になった平成4年。その年の予選で敬遠策をとった明德義塾に破れ甲子園への夢を諦めた一人が、じつはこの山中俊典さんだった。歳もちょうど松井秀喜と同じである。

野球をするために高知商業高校に進み、少なくとも高校生までは「夢はプロ野球選手!」と素直に言え、また心から思えるような、健全で明るい温かい家庭で育ってきた。そしていまでも、「目指すのは、両親のような家庭」と思える幸せに満ちている。

周りからは「看護師が天職」と…

そんな円満さが周りに「看護師が天職」といわれるゆえんなのかも知れないが、「向いちゅうかどうかの自信はありません。でも、やり甲斐はあります」という毎日を送る。

来し方を振り返ったとき、「反抗期がなかった」ことがまず浮かぶという。中学時代に先生から「周りの人があなたに注意するのは、あなたのことがとても大事だから」といわれて以来、親からの小言も「納得」してきたわけだが、現在、部長や師長に怒られると「むしろ嬉しい」と思ってしまうという。とても恵まれた職場環境なのだろう。

日々、精神科で生きる

就職以来精神科に属してきた。精神科ほど面白い科はないという。日々がルーチン化されず常に変化があり、先が読めない。様々な事情から閉鎖病棟で過ごす患者さんたちと、本当の意味での感情の共有は難しいかも知れないが、常に個人を見つめる努力をしたいし、「ひとくくりにしてはいけない」と意識して自分に言い聞かせていると

フレンドリーな関係にあると思う家族と



いう。患者さんにとって、「ひとつの出来事がどう映るか」と丁寧を考えることを自分に課している、ともいう。

さらに、患者さんとともに病気に向き合うということは常に自分と向き合うことでもあり、回復過程をともに歩むことで自己洞察を深めることにもなる。哲学的でもあるが、これが生活そのものであり、家に帰って家族がいるように、職場にはともに生きる家族がいるという実感が持てる。こんな感覚のひとつ一つが仕事のやり甲斐に繋がっていくのだろう。

看護師という職業との出会い

高校時代、プロ野球選手の夢に破れてすんなり看護師の道を目指せたかといえば、いくら母親も妹も妻も看護師であるとはいえ、当時はピンときていたわけではなかった。高校卒業の年の1月にまだ就職先も決まっていない状態で、母親から「看護師という選択肢もあるよ」と諭され、やっと重い腰をあげたのだった。ただし、そういわれて思い出せば、高校一年のとき野球の練習のし過ぎで血尿が出てしまい、近森病院に入院したことがあった。男性看護師に点滴をしてもらい、「男にも



こんな仕事があるのか」と思ったことだった。

野球への夢は細く長く今日も

仕事が休みの日には運動クラブに一生懸命な二人の娘たちの練習や試合を見に行くなどイメージ通りの家庭的な面を持っているが、ご本人にいわせると娘たちの練習を見に行くのは当たり前前で、家庭的でもなんでもない、ただし「フレンドリーな関係にある」とは思っているのだそうだ。

幼いころ、情熱を燃やし続けた野球への夢は、むろん現在も近森会野球部の監督として、楽しみを継続させている。監督は「何でも屋」であり、ポジションも本人の希望というより、空きが出たところを埋めに回る専門だが、ルーチン化よりも変化を好む山中さんにはこれもまた嬉しい、性分に合う役割なのだろう。

ニューフェイス

①所属②出身地
③最終出身校
④家族や趣味のこと、自己アピールなど



杉本 和彦

すぎもと かずひこ ①救急科医師②高知市③高知大学医学部④救急に強い総合診療医を育成したい夢があります。日本酒、ワインが好きです。昨年からカヤックを始めました。

編集室通信

去年の今頃は左肩を痛め、リハビリ訓練中であったが、いっこうに良くならない。意を決して7月初旬に手術。完治するのに約一年を要した。そしてこの春である。

「南よりとよもす嵐暖かくひとときに緑増すかと思う」。中学校の頃に教科書に出てきたこの短歌が春になると必ず思い出されるが、去年はそれどころではなかったが、今年はこの歌が出て来る。幸せな春だと思ふ。窓から見渡せる北山の新緑と五月晴れの空が美しい。(かえる)

2013年4月の診療数 システム管理室

近森会グループ

外来患者数	17,018人
新入院患者数	819人
退院患者数	847人

近森病院

平均在院日数	14.19日
地域医療支援病院紹介率	88.75%
救急車搬入件数	457件
うち入院件数	234件
手術件数	405件
うち手術室実施	276件
→うち全身麻酔件数	156件

● 平成25年4月・県外出張件数 44件延べ人数101人 ●

図書室便り (2013年4月受入分)

- ・ガイドライン外来診療 2013 今日の診療のために / 泉孝英 (編集主幹)
- ・ハリソン内科学第4版 Vol.1,2 / 福井次矢 (他日本語版監修)
- ・急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン 2013-TG13 新基準掲載 - [第2版] / 急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン改定出版委員会 (他編集)
- ・駐在保健婦の時代 1942-1997 / 木村哲哉 《別冊・増刊号》
- ・別冊医学のあゆみ インフルエンザ Update - 課題と問題点 / 菅谷憲夫
- ・別冊医学のあゆみ 呼吸器疾患 - state of arts Ver.6 / 北村諭 (他編集)
- ・別冊整形外科 No.63 腰椎疾患 up-to-date / 大川淳 (編集)
- ・感染制御 Vol.9 別冊1 東日本大震災に学

ぶ災害時の感染管理 - 被災地 ICN からの報告と提言 - / 市橋秀敏 (編集)

- ・臨床画像 Vol.29 4月増刊号 ケースレビュー画像診断必須知識習得のための指導医と研修医の問答集 / 土屋一洋 (他編集)
- ・関節外科 Vol.32 4月増刊号 若手整形外科医のための画像診断症例から学ぶ治療方針の立て方 / 帖佐悦男 (企画・編集)
- ・HEART nursing 2013 年春季増刊 先輩がみちびく超実践的ステップでめざせひとりだち! 新人ナースのための循環器ケア習得サポートプログラム / 山田聡子 (監修)
- 《視聴覚資料》
- ・VIDEO JOURNAL of Japan Neurosurgery Vol.20 No.1 / 永田泉 (他監修)
- ・Audio-Visual Journal of JUA Vol.19 No.2 / 日本泌尿器科学会 (監修)